

# 平成15年度東北海区海況予報 第2号

平成15年6月17日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

## <<今後の見通し(2003年6~8月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(35°30'N~36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~やや北寄りに推移する。
- (3)釧路南東沖の暖水塊は持続し、金華山の沖合の暖水塊は西方へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南寄り~平年並(38°30'N以北)で推移し、三陸~常磐近海に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

## 《海況の経過(2003年2月~2003年5月)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏で推移した。
- (2)釧路の南東沖で暖水塊が停滞しており\*、5月になると金華山の沖合に暖水塊が認められた\*。
- (3)親潮第1分枝の南限は、3月までは平年並~北偏(42°N~40°N)であったが、4月以降は南偏(39°30'N~38°30'N)で推移した
- (4)表面水温は2月以降、東北海区以北で平年より低めで推移した。

## 《現況(2003年5月下旬~6月上旬)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並である。
- (2)暖水塊が、釧路の南東沖約250km\*、および金華山の沖合約500km\*にあった。
- (4)冷水域が、三陸~常磐近海にある。
- (5)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏傾向にある(38°50'N)。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°30'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

\* 表面水温・人工衛星情報による